

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 15 日(月) 7 時 ~ 9 時		
市町村名	白馬村	グループ名	2班
要 旨			
(前回)合同報告会について			
県知事は県民の意見を聞くと言うが、意見を伝えているのはその意見が各市町村の総意ととられるのは心配。			
賛成意見は強烈な意見で述べられない。反対意見は少数でも強く言うことができる。 青年会議所が小谷村で行ったアンケート調査(村民の1/3程)の結果66.2%。分からない16%。こういう資料提供も出来ることなら出来る。白馬村でもアンケート調査を出来ることなら自分たちでやりたい。			
前回の各班の質問について説明がありました。前回足りなかったこと、新しい案等、提案して下さい。せっかくこういう機会なので、自分達の声を県に伝えていくいい方法があれば提案して下さい。出来るだけ近い機会にルート等示して欲しい。経済性・必要性、__等。こういうことは賛成、こういうことは考えて欲しい等、意見を小谷、白馬～池田の 30～40年代の有志がHPを立ち上げた。			
議論を深めたものが県や知事まで届かなければ意味ない。道路が必要だと知事に見て欲しいということでHPを立ち上げた。声が届くのではないが、道路の検討も出ている。小谷・白馬・大町・池田の意見をつなげた希望道路の絵をHPに載せている(池田・明科がいきるように、東側に道路を)			
県だけに任せるのではなく、地域で提案するのも大事。			
小谷が希望するのはC案で県はA案。青年会議所のルートを張り出すか皆に配ればいい。そのルートに賛成。			
道路を造って欲しいという要望が白馬は切実。長野道からのルートが欲しい。豊科ICまで20～30分で行けるようにして欲しい。			
高速が池田・大町までくればこういう議論にはならなかった。あの苦い思いをしない為にも是非実現させたい。時期可否は不明であるのに、意見交換会を何度もするのは矛盾している。近い高速へつなげるのが最善・賛成は若年層(30代)に多い何年先か分からないが自分たちが利用できるか。若年層は特に強く感じると思う。			
出来るだけ早く決定。国へ要望されたい。 調査区間の指定の意見交換もできれば(していけたら)いいのではないかと。糸魚川 大町を国へ陳情できないか。知事が建設省へ行く為に			
心配なのは知事が穂高で道路計画を白紙に戻す約束をした。新幹線は無理であり、この道路は最後のチャンス。20～30年後に道路建設が白馬にとってとても大切。必要なんだという声を反対する人に訴えて行くことが必要。白馬村民99%が賛成するための方法を考えることも大切。20～30年後に大町まで格上げされた道路、このチャンスを逃してはいけない。			

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 15 日(月) 7 時 ~ 9 時		
市町村名	白馬村	グループ名	2班
要 旨			
長野線(オリンピック道路)の強化は、松本へ行きたくても長野へ行く(距離、時間による)高規格道路の早期実現を。			
この会に申し込んだが参加できなかった人が多い。その方達の意見は同じ。豊科ICまで最低30分で行ける道路を造って欲しい。白馬が生き残るために必要。白馬8班120人、豊科1班、差がありすぎる。行政の力の入れ方に違いはないか。小人数グループの意見を知事が多くもっていたら、大変なことになる。広く意見をまとめる事が必要。			
海外観光客を入れるには、最短の富山空港から糸魚川ICへ、そして白馬へ。国際的な産業を視野に入れ、ルート実現を偏らず全体的に考えると幹線は必要。若年層が真剣に考えていることを県は受け入れるべき。私達も応援していきたい。			
10年、20年を考えると、大糸線の廃止が近い。10年後には、糸魚川に新幹線(10年)、長野へ新幹線、糸魚川へも新幹線可能。10年後の事も視野に入れると、この道路は生命線。R148のみでは、この交通は不安定ということを強調して欲しい。			
救急車の搬送等、心情的なものも踏まえると、将来的な医療の点でも松本まで30分で行ければ、大町等に充実された病院ができるかということを考えても。			
短時間で結ぶものが必要。道が良くなければ人は来なくなるのか、という声もあるが、私はエリアが広がるのではないかと思う。			
大町病院で手術に2日待った。松本まで行ければ身内の心痛も減ることがある。医療制度見なおし必要(例:休日当番室)			
参加できなかった人も大勢いるが、住民に情報を知らせることも行政には大切(広報活動)			
議会、行政を知事は嫌がる。地域のグループの方が通りやすい。逆ではないか。疑問。住民1%程の意見が民主主義なのか。			
11/6(火)第3回目やるかどうか。			
全体会議にどうやってもっていくかどうか。意見がまとまって発表するだけであれば、大体出尽くした。ここまで出た位の話を発表すればいい。			
11/6やらない。記録をまとめて案を作り、メンバー集合して確認する。このグループの意見は1日も早く道路作って欲しい。自然には配慮されたい。全員賛成。			
高速道路が県中走ったことによってICより半径10kmが繁栄する。10kmに入っていないのは、大北地域と木曾地域のみ。木曾は道路建設の方針を知事が出している。			
雇用の安定を考えても、白馬の将来は不安定。大北地域は代わりに高規格道路を建設されたい。			